

ニセコ町過疎地域持続的発展市町村計画（素案）についての意見募集結果

令和8年2月2日

ニセコ町過疎地域持続的発展市町村計画（素案）について、ニセコ町まちづくり基本条例の規定に基づき、公表を行い、みなさんからの意見の募集を行いました。

寄せられた意見と、意見に対する町の考え方、計画上の対応について以下のとおりお知らせします。

意見募集へのご協力、ありがとうございました。

＜公表の期間等＞

①縦覧の期間等	とき 令和8年1月9日（金）から1月30日（金）まで
	ところ ニセコ町役場企画環境課及びニセコ町ホームページ
②意見の受付期間	とき 令和8年1月9日（金）から1月30日（金）まで
	ところ ニセコ町役場企画環境課

＜意見等と町の考え方・対応＞

提出件数 2件

※うち1件は、国や地方における外国人政策に関するものであり、本件の対象外とさせていただきますが、貴重な意見として参考にさせていただきます。

注：いただいた意見は原文のままでなく、一部割愛、要約をしています

意見（素案該当箇所）	町の回答
（全般、P5、P7～8） ニセコ町は「過疎」と「急激な人口動態変化」の課題を内在した自治体であり、この部分をもっと掘り下げる計画とし、遡及すべきではないか。	「1 基本的な事項」において、本町の人口等について整理しているところです。ご意見にあります人口動態により着目したものとしては「第3期ニセコ町自治創生総合戦略」があり、この策定においてより詳しく分析・評価がなされております。本計画においては、自治創生総合戦略と整合をとったものとなっています。
（全般） 日本人人口の減少要因は、①高齢者の転出、②移住のハードルがたかくなっている移住者が定着しないことではないでしょうか。 ※意見者から提示の人口推移に関する資料をもとにした意見	人口変動に関する分析・資料、ありがとうございます。参考にさせていただきます。 本計画に基づき、総合的な取り組みを実施していくことで、ご指摘の要因の改善を図っていきたいと考えております。

<p>(全般)</p> <p>日本人の減少、外国人の急激かつ季節変動を伴う增加による問題</p> <p>①(特に) エッセンシャルワークの担い手不足</p> <p>②集落(コミュニティ)活動での弊害</p>	<p>同上</p>
<p>(全般、P11~12)</p> <p>前述の問題は、人口増・活況なりゾート開発の陰で深刻度を増しています。町民参加の検討会を立ち上げ、対応策を議論し、実行計画に反映していくべきと考えます。</p> <p>ニセコファンや関係人口を増やすことは良いことですが、ニセコの名前が知れ渡った昨今でもコンスタントに日本人人口が減少し、深刻な人手不足に直面していることを踏まえると、課題認識と対応がズれていると言わざるを得ないと思います。</p>	<p>ニセコ町では、まちづくり基本条例に基づき、協議会・検討会などに、町民公募委員に参加いただいております。様々な協議会・検討会があり、その中で、ご指摘事項についても話題となり議論されまちづくりに反映されているものと考えております。別途、検討会を立ち上げることは、現状としては予定はしておりませんが、既存の協議会・検討会などの機会を中心に、議論を重ねていければと考えております。</p> <p>ニセコファン・関係人口については、将来的な移住者という期待は確かにあるものの、むしろ、人口にはカウントされませんがこれからの地域づくりや地域の機能を維持していくための担い手として、取り組んでいく必要があるものと考えております。</p>
<p>(P6)</p> <p>農業面では、ビュープラザの成功が大きな成果だと考えます。</p> <p>売上が大きいこと以上に、小規模農家にも販路を提供し新規就農をやり易くしています。他の農業地域が、効率化のため大型機械による大規模農業一辺倒で、資金力がないと新規参入が困難となり、その結果、後継者が減って先細りしてしまっている状況とは一線を画します。</p> <p>林業に関しては、「林業の振興に寄与している」というのは言い過ぎで、「町内資源の活用に端緒を付けた」状況ではないでしょうか。</p> <p>観光においては、「調和のとれたリゾート開発が行われている」というのも町民感覚とは乖離していると感じる。景観条例などで町民とともに「過度な開発や自然景観の破壊を食い止める道を模索している」状況だと思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p>

<p>(P7、P11、P12)</p> <p>「ニセコ町の社会経済的発展の方向の概要」公的書類の言い方なのかもしれません、同時に町民にも判り易い、シンプルな表現を望みます。「ニセコ町の経済の概要」で良いのではないでしょうか？</p> <p>ニセコ町の主要産業が「農業」と「観光」と読めるが、経済規模としては「建設業」が最も大きいのではないかでしょうか。建設業は、公共事業の側面もありますが、豪雪地帯の生活に重要な「除雪」を担って貢っています。これが機能不全になると過疎化に拍車をかけることになり、担い手確保の取り組みを記載すべきだと思います。</p> <p>リスペクトの意味も込めて。</p>	<p>本計画の構成・見出し等については、規定されているもののほか、過去の町計画との整合も含め設定しています。今後は、できるだけわかりやすい表現になるよう努めていきます。</p> <p>主要産業については、ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>(P12、R22)</p> <p>産業の振興では、雇用創出も大事ですが、持続的であるためには、特にエッセンシャルワークでの人手不足対策が最大の課題です。企業誘致して雇用が発生し、エッセンシャルワークの人手不足に更に拍車がかかってしまっては本末転倒です。これまで放置されてきた町有資源である森林の活用と地域内経済循環について、個別事業計画に入れていただいているのは、とても良いと思います。但し、商業利用面だけでなく、森林の持つ多様な生態系サービスとしての活用も、自然豊かなニセコ町が考えるべきことだと思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>本計画が目指す、「地域の持続的発展」のためには、ご指摘事項は重要なものの一つと考えています。また、いち分野の取組だけでなく、林業も含め総合的に取り組みを実施していくことが重要と考えています。</p>
<p>(P12、P36~37)</p> <p>高齢者転出の大きな要因の1つが、車が運転できなくなった時の不安です。</p> <p>高規格道路の実現とか、新幹線の促進ではなく、買い物や病院に行く交通手段が重要で、町内のデマンドバスでは俱知安町には行けません。他町村と相互乗り入れなどで、車の運転ができない人や高齢者がワンストップで目的の場所に行けるようにならなければ、利便の良い所に転出するのは道理です。高校生や雪道運転に不慣れな女性も同様です。産業振興（で人を呼び込むこと）に比して、事業計画が余りにも貧弱です。</p>	<p>地域の交通の重要性は町としても認識しているところです。</p> <p>また、交通については域内の問題でも広域的な要因が関係していきますので、国や北海道、交通事業者と連携して対応を検討していきます。町としては「地域公共交通計画」のもと、ニセコ町地域公共交通活性化協議会でも議論を進めていきます。</p>

<p>(P13、P39~40)</p> <p>生活環境の整備では、昨今の上水配管の老朽化、増加するリゾート開発等に対する水源やインフラ不足、民泊や2拠点居住によりごみ問題やコミュニティ活動等で既住民にも影響が出ています。課題と対策がもっとわかる事業計画にしていただきたい。</p> <p>住宅対策も、移住を困難にしている大きな要因です。産業振興よりも「若い人の収入でも住み続けることができる」住宅対策が喫緊だと思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>本計画としては、個別の課題と対応をすべて列記するものではない点はご理解いただければと思います。</p>
<p>(P13、P43~44)</p> <p>住民が増えている自治体の多くでは、子育て支援が充実しています。これも移住の大きな動機と言われています。家族で移住するので過疎防止効果は大きく、更に子育てが少しでも楽になれば、それだけ女性の社会参加と地域での経済効果が出ます。</p> <p>「子供まんなか」に恥じない事業計画を期待します。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>(13、P45~46)</p> <p>厚生病院関係者に聞くと、医療従事者の人手不足も深刻で、病院は医師や看護婦だけでなく多くの関係者に支えられているが、観光業などに人手が奪われ大変な状況とのことです。更に、季節移住者が押し寄せ、その一部は住民税を払わずに帰国してしまうため、財政面でも観光バブルの負の側面が出ているとのこと。</p> <p>また、身内が急逝盲腸になった時に、かかりつけ医では判断できないため厚生病院で検査するよう言われ、その検査で急逝盲腸と診断されたが厚生病院では手術は出来ないため小樽市民病院に回されました。そしてその都度検査を受けました。盲腸レベルでもこのような状態では、「医療が不安だから転出する」という人も出てきます。</p> <p>ニセコ町だけで解決する問題ではありませんが、広域連携での医療制度を真剣に考えて欲しいと思います。これも今の事業計画では全く不十分だと思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>ご指摘のとおり、医療分野については、広域的な対応が求められるところであります、その取組について記載しております。広域要素が強いため他の政策分野より記載ボリュームは少なくなっていますが、重要性は認識しているところです。</p>

<p>(全般)</p> <p>個別事業計画を見ると、産業振興に偏りすぎていると感じます。地域おこし協力隊のある人が言っていました。「ニセコ町には仕事はある。自助でなんともならないことを公助で考えて欲しい」と。転出していく原因、移住しづらい原因にもっとフォーカスした方が、実効性の高い計画になると思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>ニセコ町としては、「地域の持続的発展」のために、本計画に基づき産業振興だけでなく総合的な取り組みを実施していく考えであります。</p>
--	---

<担当・お問合せ先>

ニセコ町企画環境課 TEL : 0136-56-8837 kikaku@town.niseko.lg.jp